

PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

2013.4.1～2014.3.31

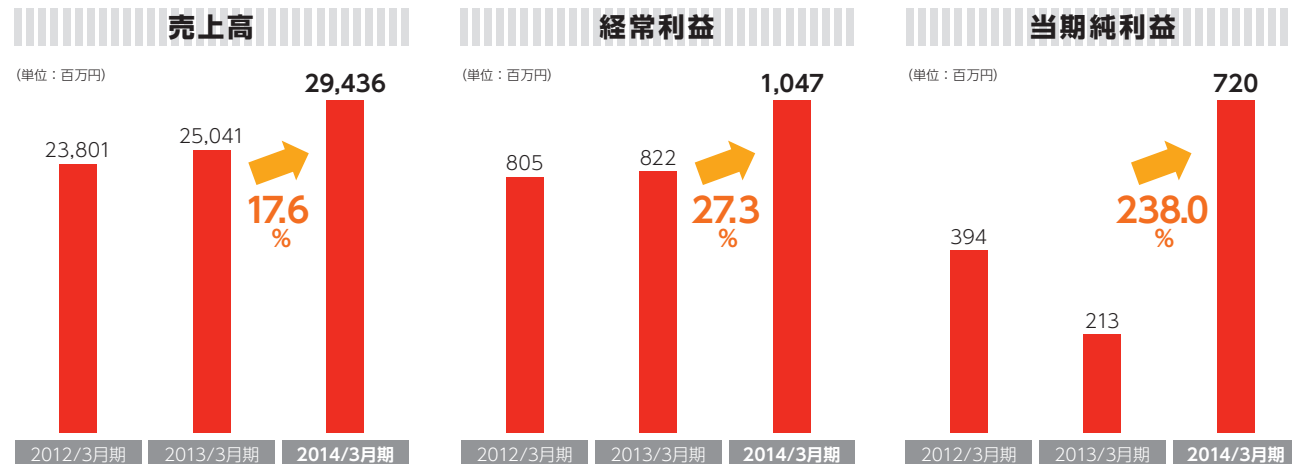
第40期 株主通信

証券コード：6165



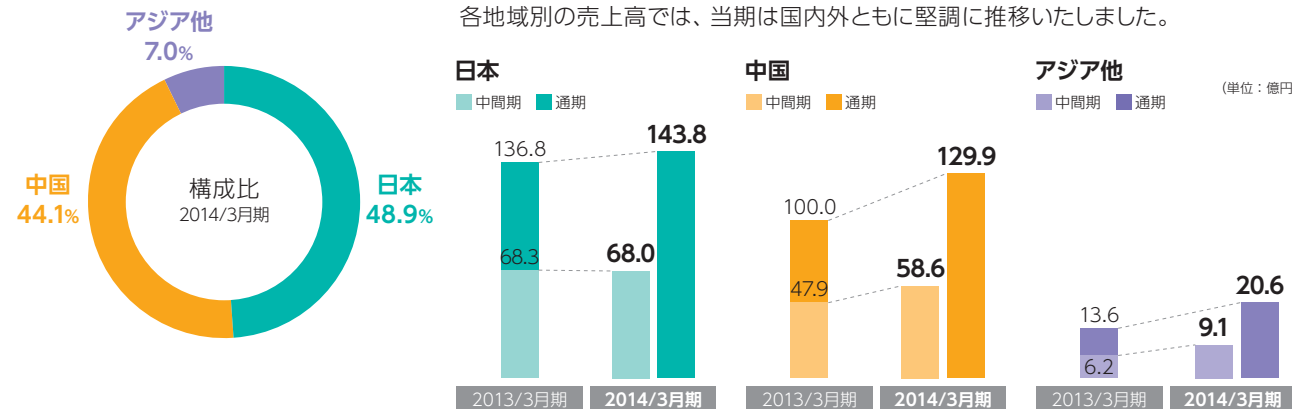
パンチ工業株式会社

自動車関連の好調、家電・精密機器及び電子部品・半導体などの復調、東南アジアグループの新規連結もあり、増収・増益となりました。



地域別売上高

当社グループは、グローバルなネットワークを構築しておりますが、その中でも中国は売上高構成比の約40%を占める大きな市場となっています。各地域別の売上高では、当期は国内外ともに堅調に推移いたしました。



2014年3月期の事業環境と業績の振り返り

金型市場は世界的に、リーマンショック直後をボトムとして着実に回復基調にあります。国内では、好調を維持する自動車市場に加え、家電・精密機器、電子部品・半導体も復調してまいりました。

2014年3月期につきましては、自動車関連の好調、家電・精密機器の復調基調、食品・飲料関連等新分野の伸長による売上の確保と、国内工場の稼働アップによる原価率の低減や単体収益体質改革活動の成果等もあり、売上高、利益ともに前年実績を大幅に上回り、2013年10月25日に公表しました年間業績予想もクリアすることができました。

2015年3月期の連結業績は、売上高315億円、営業利益14億5百万円、経常利益12億56百万円、当期純利益8億48百万円と予想しております。

2015年3月期 業績予想

	2014年3月期 (実績)	2015年3月期 (予想)
売上高	29,436	31,500
営業利益	1,161	1,405
経常利益	1,047	1,256
当期純利益	720	848

2014年3月14日、東証第二部から東証第一部へ

2012年12月20日に東京証券取引所市場第二部に上場してから約1年3か月、2014年3月14日付けで東京証券取引所市場第一部指定を果たしました。これまでお力添えをいただいた株主の皆様からのご支援の賜物と心より感謝申し上げます。今後も皆様のご期待にお応えすべく、業容の拡大と企業価値の向上を目指してまいります。



中期経営計画「バリュークリエーション15」の達成に向けて

企業を取巻く世界経済、社会環境は、あらゆる局面でめまぐるしく変化しております。また、新興国を中心とする世界経済の構造変化により、ものづくりの舞台は、日本から中国、そして新興国へシフトしつつあります。

当社グループでは、日本のものづくりに徹底的にこだわるとともに、こうした経営環境の変化に迅速に対応し、グローバルに事業を展開していくため、2015年度を最終年度とする中期経営計画「バリュークリエーション15」を策定し、グローバル化、新市場の開拓、高収益事業モデルへの転換を進めております。その実行に不可欠な研究開発体制の整備や強固な収益基盤の構築を加速するため、2014年3月、公募及び第三者割当増資による資金(約18億円)の調達を行いました。

このうち、5億85百万円を本社及び国内工場におけるグローバル管理機能の強化のためのシステム構築と、研究開発・生産体制の強化を目的とした設備投資資金とし、5億円を中国グループの研究開発、生産体制の強化に用いる予定です。

株主還元について

当社では継続的企業価値向上の基盤は株主の皆様からの「信頼」と「応援」であり、そうした「期待」にお応えすることを経営の重要課題の1つと認識しております。配当方針につきましては、安定かつ継続的な配当に加え、業績連動により連結配当性向20%以上を目標に実施してまいりたいと考えております。

配当金の推移

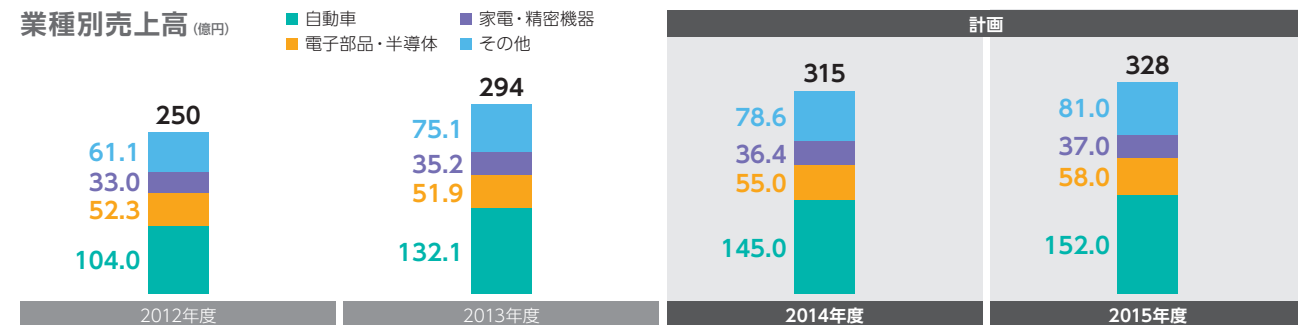
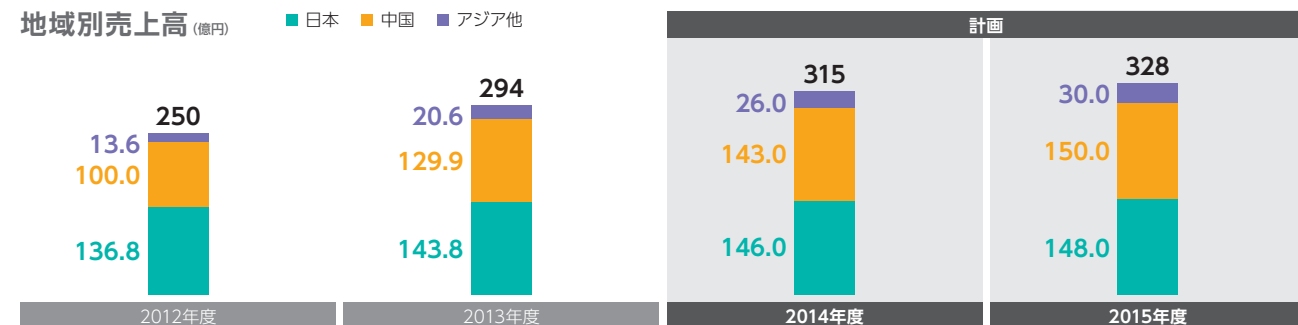
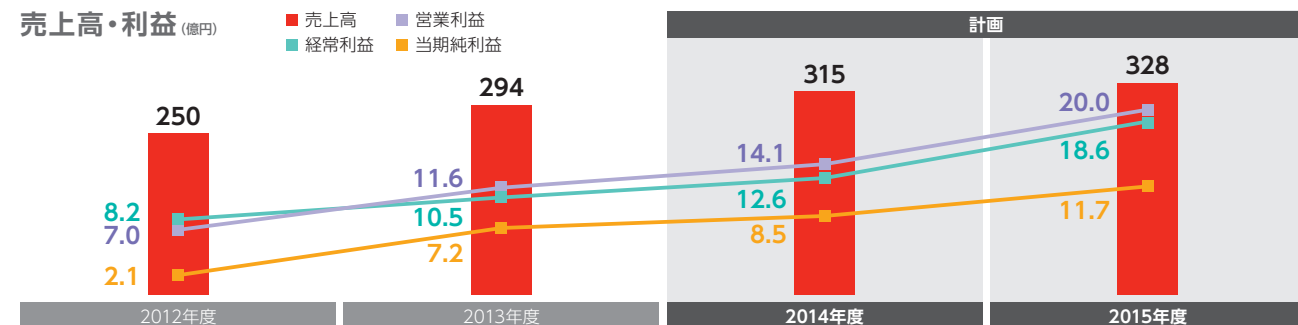
	年間配当金
2014年3月期(実績)	20円
2015年3月期(予想)	20円

おかげさまで創業40周年を迎えました

1975年に創業した当社は、今年度、創業40周年を迎えることとなりました。これもひとえに株主の皆様のご支援とご厚情の賜物と心から感謝申し上げます。今後とも、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



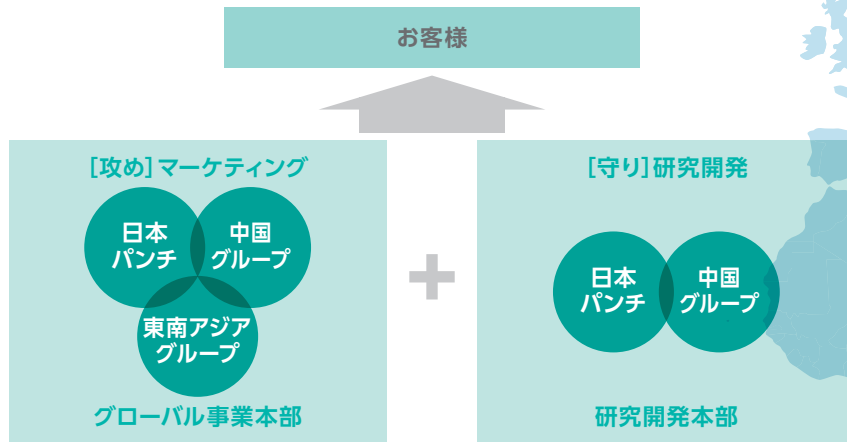
中期経営計画「バリュークリエーション15」の達成目標(2015年度) 売上高320億円以上、営業利益20億円以上を目指します。



地域別の進捗

日本での取組み

- 当社、中国グループ&東南アジアグループをコアにグローバルマーケティング推進
- 日中連携で研究開発体制強化



中国での取組み

- 内陸部攻略** 重慶での生産・物流拠点を活用し、成長市場を攻略
- 戦略製品拡販** 研究開発の成果である戦略製品の拡販により収益性の改善と投資回収を目指す

東南アジア他での取組み

- アジア**
- グループ会社によるインドネシア合併会社設立
 - ベトナムパンチのハノイ事務所開設
 - インドパンチの事業基盤確立
- 米州・欧州**
- 中国パンチと東南アジアグループとの連携で欧米市場への取組みを強化
 - 米フォード社WDX規格サプライヤーの指定をてこにグローバル展開を加速



東南アジアグループ統括拠点
「マレーシアパンチ」誕生



当社は、今後の成長が見込まれる東南アジア市場に「製販一体」と「製造直販」を活かしたビジネスモデルを構築するため、2013年8月、マレーシア、シンガポール、ベトナム、さらには欧州にも販路を持つ、マレーシアの金型用部品製造販売会社 PANTHER PRECISION TOOLS SDN. BHD. をグループ会社化しました。なお、2014年1月に PANTHER PRECISION TOOLS SDN. BHD. は PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD. (マレーシアパンチ) に社名を変更しています。

ベトナムでの販売網を拡大

ベトナムのホーチミンを拠点とするベトナムパンチ (PUNCH INDUSTRY VIETNAM CO. LTD.) が、2014年4月、ハノイに事務所を開設しました。これは、ハノイのお客様へのサービス向上と、ベトナム北部でのさらなる販売拡大を目的としたものです。

インドネシア合併会社の営業を開始

当社グループの東南アジア戦略の一環として、マレーシアパンチ (PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.) とインドネシアに拠点を置く販売会社ソマゲデ社 (PT. SOMAGEDE INDONESIA) の合併会社インドネシアパンチ (PT. PUNCH INDUSTRY INDONESIA) を設立しました。同社は2014年4月より営業を開始しています。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期 2012年4月1日から 2013年3月31日まで	当期 2013年4月1日から 2014年3月31日まで
売上高	25,041	29,436
営業利益	707	1,161
経常利益	822	1,047
当期純利益	213	720

当期における当社グループは、自動車市場の深耕、新市場・新分野への展開を積極的に進めるとともに、持続的な原価低減を推進することで、業績の確保に努めてまいりました。

この結果、国内売上高は143億86百万円、海外売上高は150億50百万円となり、連結売上高294億36百万円(前期比17.6%増)となりました。

利益面につきましては、売上増に加え、国内工場

の稼働アップによる原価率の低減及び単体収益体質改革活動の成果もあり、営業利益は11億61百万円(前期比64.1%増)となりました。経常利益は受取配当金の減少等もあり、10億47百万円(前期比27.3%増)、当期純利益は前期に発生した繰延税金資産取崩しの影響がなくなったこと等により、7億20百万円(前期比238.0%増)となりました。

地域別概要

国内

自動車関連の堅調、家電の回復に加え、注力している食品・飲料関連等の新規分野の伸長もあり、前期に比べ5.2%増の143億86百万円となりました。

今期は、自動車・電子部品等の取組みをさらに強化し、食品・医療関連等の新分野の拡大を図ります。

中国

好調な自動車に加え、電子部品・半導体や家電・精密機器などが復調、人民元高による為替の影響もあり、前期を大幅に上回る29.9%増の129億88百万円となりました。

今期も堅調に推移すると見られる自動車・情報通信関連を中心に販売を強化するとともに、戦略製品の拡販及び内陸部展開を進めます。

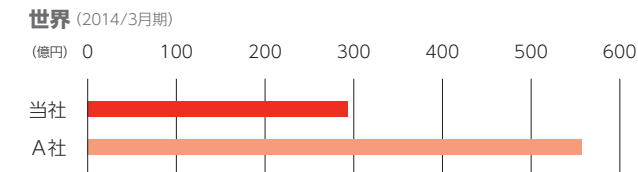
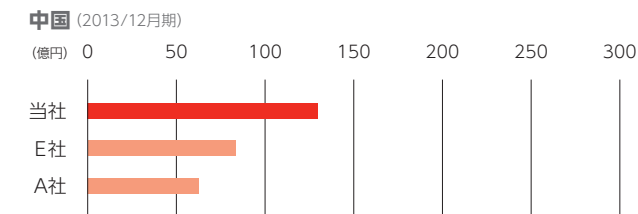
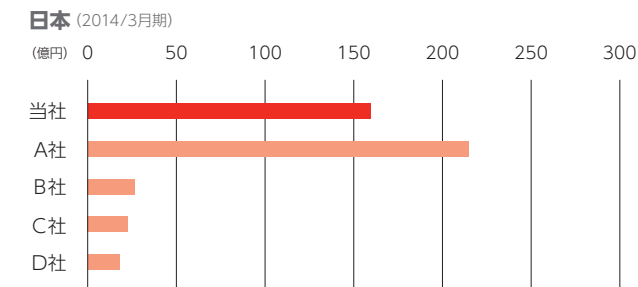
東南アジア・インド他

東南アジアグループの新規連結により東南アジア・欧州でも増収となりました。インドでは売上高が拡大し前期比で大幅増収となりました。

今期は、東南アジア・インドでの拡販及び欧州・米州への販売強化を図ります。

業界ポジション

当社グループ売上高は、**国内、世界ともに2位、中国では1位**



(出所) 決算短信、帝国データバンク、当社推計

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期末 2013年3月31日現在	当期末 2014年3月31日現在
流動資産	12,463	14,668
固定資産	8,110	9,803
資産合計	20,573	24,471
流動負債	11,897	11,372
固定負債	2,950	3,736
負債合計	14,847	15,108
純資産合計	5,726	9,362
負債純資産合計	20,573	24,471

当期末における総資産は244億71百万円となり、前期末と比較し38億97百万円の増加となりました。これは、主として売上債権の増加や新規連結等によるものです。

純資産は93億62百万円となり、前期末と比較し36億36百万円の増加となりました。これは、主として公募増資の実施による資本金、資本剰余金の増加及び当期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加ならびに為替換算調整勘定の増加によるものです。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期 2012年4月1日から 2013年3月31日まで	当期 2013年4月1日から 2014年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	1,690	1,194
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,773	△1,252
財務活動による キャッシュ・フロー	△41	△370
現金及び現金同等物の 期末残高	1,741	1,506

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益や減価償却費の計上等による収入が支出を上回ったため、11億94百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得や関係会社株式の取得による支出等により、12億52百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の返済等による支出が収入を上回ったため、3億70百万円の支出となりました。

会社概要

(2014年3月31日現在)

- 商号 パンチ工業株式会社
- 創業 1975年(昭和50年)
- 資本金 15億7,154万円
- 従業員数 連結 3,761名
- 本社所在地 東京都港区港南二丁目12番23号
明産高浜ビル8F
TEL.03-3474-8007(代表)
- 事業内容 金型用部品の製造・販売
- 取引銀行 三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行、
三井住友銀行、りそな銀行、
三井住友信託銀行

役員

(2014年6月24日現在)

- 代表取締役会長 森久保 有司
- 代表取締役社長 武田 雅亮
- 専務取締役 杉田 進
- 取締役 真田 保弘
- 取締役 村田 隆夫
- 取締役 八木 裕之
- 取締役(社外) 横山 茂
- 常勤監査役 木對 紀夫
- 監査役 佐々木 信也
- 監査役(社外) 安藤 良一
- 監査役(社外) 松江 頼篤

株式の状況

(2014年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 20,000,000株
- 発行済株式の総数 8,961,200株
- 株主数 3,391名

大株主(上位10名)

(2014年3月31日現在)

株主名	持株数 株	持株比率 %
エム・ティ興産株式会社	1,090,000	12.16
森久保 有司	972,000	10.84
パンチ工業従業員持株会	656,700	7.32
森久保 哲司	650,000	7.25
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	443,700	4.95
神庭 道子	298,000	3.32
野村信託銀行株式会社(投信口)	205,000	2.28
森久保 博久	128,000	1.42
日本証券金融株式会社	116,400	1.29
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	98,700	1.10

*持株比率は、小数点第2位未満を切り捨てて表示しています。



株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日
- 期末配当金受領株主確定日 毎年3月31日
- 中間配当金受領株主確定日 毎年9月30日
- 定時株主総会 毎年6月
- 公告方法 電子公告により行います。
公告掲載URL
<http://www.punch.co.jp/companyinfo/>
(ただし、電子公告によることができない事故、
その他のやむを得ない事由が生じたときは、
日本経済新聞に掲載します)
- 株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
- 同連絡先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話 0120-782-031(通話料無料)
- 上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部
- 単元株式数 100株

日経IRフェア2014 STOCKWORLDに出展予定

8月29日(金)、30日(土)に東京ビッグサイトで開催される「日経IRフェア2014 STOCKWORLD」への出展を予定しています。



昨年の当社ブースの様子

IRメールマガジン配信のお知らせ

当社では、決算情報やプレスリリース、IR関連情報などをメールでお届けしています。

下記、QRコードもしくはURLよりご登録ください。



<https://fofa.jp/punch/a.p/102/>



パンチ工業株式会社

本社：〒108-0075
東京都港区港南二丁目12番23号
明産高浜ビル8F
TEL.03-3474-8007 FAX.03-3471-8100



見やすくまちがえにくい
ユニバーサルデザイン
フォントを採用して
います。



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙

FSC® C005531